

- 『戦争の理論』（『日本評論』12巻13号付録）農民戦争 - ドイツ農民戦争から - 日本評論社
1937
- 『支那問題辞典』（岡崎三郎名で）イギリスと支那 資源 度量衡 南支那 支那文化史年表
中央公論社 1942
- 『資本論解説』 北斗書院 1946
- 『科学の道 - 高野長英のこと』（日本叢書 66） 生活社 1946
- 大森義太郎『唯物弁証法読本』 あとがき 黄土社 1946
- 『経済学研究』 生活社 1947
- 『歴史的法則と現実』 風樹書院 1947
- 『道を拓いた人々』 大月書店 1948
- 大森義太郎『まてりありすむす・みりたんす』 改訂版の序 黄土社 1948
- 『マルクス経済学の基礎理論』 東洋経済新報社 1948
- 『闘うヒューマニスト - 近代日本の革命的人間像 - 』 大森義太郎のこと 学生書房 1948
- 『日本資本主義の研究』上（共著） 黄土社 1948
- 『社会主義とは何か』（社会主義講座1 思想）近代社会主義思想史 三元社 1948
- 『日本資本主義の研究』下（共著） 黄土社 1948
- 『疑い得る精神』 高島屋出版部 1948
- 『日本の革命を語る』（共著） 板垣書店 1948
- 『資本論研究 - 商品及交換過程』（編著） 河出書房 1948
- 『資本論研究 - 流通過程』（編著） 河出書房 1949
- 『マルクス・エンゲルス著作解題』（監修）序にかえて - いかにもマルクス・エンゲルスを学ぶか？
ドイッチェ・イデオロギー 附・フォイエルバッハに関するテーゼ フオクト氏 附・フオ
クト氏再論 黄土社 1949
- 『経済学方法論』1～3 河出書房 1949～50
- 『社会科学辞典』経済学説史 河出書房 1949
- 『ゲーテ Goethe』（ドイツ文学3）わがゲーテ史 郁文堂書店 1949
- 『社会科学の諸系譜』（社会科学講座2）史的唯物論と社会科学 弘文堂 1950
- 『哲学の歴史』（哲学講座3）マルクス 筑摩書房 1950
- 『学生と社会』（学生シリーズ）学者・研究者 日本評論社 1950
- 『社会科学の基礎理論』（社会科学講座1）社会科学の学び方 弘文堂 1950
- 『経済五十年 - 20世紀日本文明史 - 』（共著）時事通信社 1950
- 『現代のコミュニズム』（現代社会思想講座3）マルクス・エンゲルスの世界観 春秋社
1950
- 『マルクス主義と民族問題』 板垣書店 1951
- 『社会問題と社会運動』（社会科学講座6）レーニン 弘文堂 1951
- 『経済学小辞典』資本主義 修正資本主義 岩波書店 1951
- 『日本』4（世界美術全集 25）近代日本の成立と発達 平凡社 1951

- 『社会主義への意志』 要書房 1952
- 『社会と人倫』(新倫理講座4) 労働者の倫理 創文社 1952
- 『嵐の中の百年 - 学問弾圧小史』(編著) 日本資本主義と学問の弾圧 風雪に耐えて あとがき 勁草書房 1952
- 『マルクス経済学の研究』(大内兵衛還暦記念論文集・上) 市場価値論と相対的剰余価値論 岩波書店 1953
- 『現代用語事典』(監修) 紀元社出版 1953
- 『日本平和経済の理論』(総評編) 序章 実践をともなわめ理論は無意味である 青木書店 1953
- 『二つの世界』(現代史講座4) 富国強兵 創文社 1953
- 『未来は青年のもの』 要書房 1953
- 『明日への課題』(現代史講座5) 階級と世界史 創文社 1953
- 『哲学事典』 社会主義 平凡社 1954
- 『近代日本の思想家』(編著) 序 近代思想の担い手 和光社 1954
- 『学生・友情・学問』 若きマルクシストに与うる書 - 学生運動の道 河出書房 1954
- 『マルクスをめぐりて』 日本評論新社 1954
- 『政治学事典』 議会主義 マルクス ブルジョアジイ 平凡社 1954
- 『英雄なき一三日の闘い - 三鉱連企業整備反対闘争史』(全国三井炭鉱労働組合連合会編) 『三鉱連企斗白書』に序す 労働法律旬報社 1954
- 『随筆 茶の間』(共著) 自己批判 毎日新聞社 1954
- 『日本社会主義運動史』(編著) 近代日本の成立と社会主義 室町書房 1955
- 『日本社会党のあゆみ - その理論と実践 - 』(編) はじめに 蒼樹社 1955
- 『働く人のための読書案内』(編著) 社会科学の学び方 蒼樹社 1955
- 『現代随想全集』27 (共著) 向坂逸郎集 創元社 1955
- 『九大経済学部三十周年記念論文集』 資本主義における失業の不可避性 九州大学経済学会 1955
- 『日本』5 (世界美術全集 28) 総論・近代日本の破綻と再生 平凡社 1955
- 『マルクス経済学の形成』(経済学説全集7) マルクス経済学の方法 あとがき 河出書房 1955
- 『学生への手紙』 学生運動について 同文館 1955
- 『歴史をつくるもの - 現代社会批判 - 』(河出書房新書) 河出書房 1955
- 『前進のために』 労働組合と階級政党 全農林省労組 1955
- 『回想の内村鑑三』 非戦論時代 岩波書店 1956
- 『反デューリング論』1 (マルクス・エンゲルス選集 11) 解題 新潮社 1956
- 『政治・経済学の世界社会主義』(社会主義講座2) 独占資本の論理 河出書房 1956
- 『反デューリング論』2 (マルクス・エンゲルス選集 12) 解題 新潮社 1956
- 『革命と反革命』(マルクス・エンゲルス選集 6) 解題 新潮社 1956

- 『フランスの内乱，ドイツ農民戦争』（マルクス・エンゲルス選集 10） 解題 新潮社 1956
- 『革命と行動の社会主義』（社会主義講座 3） 序 歴史と個人 マルクスとエンゲルス レーニン 河出書房 1956
- 『日本の二大政党』 社会党よ，わが道を往け 法律文化社 1956
- 『学生と生活』（現代学生講座 2） 正義感 河出書房 1956
- 『社会主義 - 古くして新しきもの』（河出書房新書） 河出書房 1956
- 『哲学の貧困，ドイッチェ・イデオロギー』（マルクス・エンゲルス選集 3） 解題 新潮社 1956
- 『ゴータ綱領批判，家族・私有財産・国家の起源』（マルクス・エンゲルス選集 9） 解題 新潮社 1956
- 『資本論綱要』（マルクス・エンゲルス選集 8） 解題 新潮社 1956
- 『みいけ十年』 「みいけ十年」に寄す 三池炭鉱労働組合 1956
- 『資本論解説』（編）（マルクス・エンゲルス選集 14） まえがき 新潮社 1956
- 『人間愛と倫理』（現代教養講座 1） 現代に生きる思想の倫理 - 社会主義 角川書店 1956
- 『資本論』（岩波文庫版第12分冊） 解題・索引 岩波書店 1956
- 『新しい社会』（現代思想 4） 資本主義の論理と人間 - マルクス主義による資本主義社会と文明の批判 岩波書店 1957
- 『社会主義と自由』 文藝春秋新社 1957
- 『日本の社会主義革命』（社会主義講座 8） 座談会・日本の社会主義への途 河出書房 1957
- 『剰余価値学説史解説』（編）（マルクス・エンゲルス選集 15） まえがき 新潮社 1957
- 『史的唯物論』（マルクス・エンゲルス選集 4） 解題 新潮社 1957
- 『ヘーゲル批判』（マルクス・エンゲルス選集 1） 解題 新潮社 1957
- 『経済学・基礎編』（労大テキスト 3） 経済学の基礎理論 労働大学 1957
- 『経済学史の十二人』 カール・マルクス 日本評論社 1957
- 『世界と日本』（現代日本資本主義大系 7） 監修者座談会・日本資本主義の現段階 弘文堂 1958
- 『マルクスの批判と反批判』（編著）（マルクス・エンゲルス選集 16） まえがき 「窮乏化理論」の概説 新潮社 1958
- 『故山川均氏党葬追悼録』 弔辞 日本社会党本部 1958
- 『山川均を語る』（講演記録 1958.5.14 於高松市教育会館 非売品） 1958
- 『わが師』 山川均 東京出版 1958
- 『社会主義 - 理論と実践』（学習教科書 2） 日本資本主義の発展段階と諸階級 労働大学 1959
- 『これからの労働運動 - 労働者をとりまく情勢の分析と展望 1』（月刊『総評』別冊） 独占資本の現段階と労働者階級の闘い 日本労働組合総評議会 1959
- 『私の社会主義』 至誠堂 1959
- 『労働講座テキスト - 幹部講座用』 独占資本の支配と全通労働者 全通信労働組合 中央本部教育宣伝部 1959

- 『経済学批判』(マルクス・エンゲルス選集7) 解題 新潮社 1959
- 『共産党宣言』(マルクス・エンゲルス選集5) 解題 新潮社 1959
- 『経済学 - 理論と実践』(学習教科書1) 序文 労働大学 1959
- 『マルクス経済学の方法』 岩波書店 1959
- 『石井柏亭の人と芸術 - 追憶三十人集』(非売品) 柏亭さんの思い出 平凡社 1959
- 『私たちの郵政事業論』(全通時報別冊) 序にかえて 全通信労働組合 1960
- 『戦後の政治』(現代教養全集23) 対談・三池の闘いをみつめて 筑摩書房 1960
- 『若き僚友の死』 文藝春秋新社 1960
- 『イギリスにおける労働階級の状態』(マルクス・エンゲルス選集2) 解題 新潮社 1960
- 『全通長野運動史』 序 全通長野地区本部 1960
- 『日本資本主義』(学習教科書5) はしがき 労働大学 1961
- 『構造改革論 - 批判と紹介 - 』(編) はしがき 至誠堂 1961
- 『社会主義革命論 - 構造改革論を克服する - 』(編著) はしがき 序論 東洋経済新報社 1961
- 『三池日記 - たたかひの理論と総括 - 』(編著) はしがき 序章 三池の労働者とともに 至誠堂 1961
- 『山川均自伝』(共編) まえがき (連名) 岩波書店 1961
- 『農民運動 - 理論と実践』(共著)(学習教科書6) はしがき 労農提携 労働大学 1961
- 『うめ草・すて石』(共著) はしがき 至誠堂 1962
- 『マルクス伝』(マルクス・エンゲルス選集13) 新潮社 1962
- 『社会主義革命とはどんなものか』(労大通信教育講座活動家課程テキスト思想部門8) 労働大学 1962
- 『マルクス経済学の基本問題』 岩波書店 1962
- 『資本論読本』(編著) はじめに 対談「資本論をめぐる」 マルクスの言葉 『資本論』の意味するもの 河出書房新社 1963
- 『社会主義』(現代日本思想大系15) 社会主義への意志と力 筑摩書房 1963
- 小島恒久『経済学入門』(労大新書6) 小島恒久君 - その人・その文 労働大学 1963
- 山川均『社会主義への道 - 社会主義政党論 - 』(労大新書2) 序文 労働大学 1963
- 『語録・永遠の言葉』(世界教養全集別巻4) マルクス エンゲルス 平凡社 1963
- 『共同討議・現代の合理化と労働者の生命を守る闘い - 三池・鶴見二大災害が厳しく教えるもの』
現代の合理化と労働者の生命を守る闘い 労働旬報社 1964
- 『学ぶということ』 文藝春秋新社 1964
- 『地代収入』(資本論講座6) 付論『資本論』についての感想 青木書店 1964
- 『憲法闘争』(編著)(労大新書9) まえがき 憲法闘争の基本問題 労働大学 1964
- 『流れに抗して - ある社会主義者の自画像 - 』(講談社現代新書25) 講談社 1964
- 『日本における社会主義への道』(学習テキスト1) 討議に参加して 社会党教宣局 1965
- 『無産政党史史料 - 戦前・前期』(社会文庫叢書3) 宝庫が開かれた思い 柏書房 1965
- 『一冊の本』2 (共著)(朝日新聞学芸部編) 丘浅次郎 進化論講話 雪華社 1965

- 『山麓集』（大内兵衛先生喜寿記念随想集）大内先生 大内会(非売品) 1965
- 『日本社会党20年の記録』社会主義革命の条件と構造改革論 日本社会党機関紙出版局 1965
- 『昭和経済史への証言』中 日本資本主義論争・労農派の主張 毎日新聞社 1966
- 『学習・共産党宣言』（共著）(労大新書 16) 労働大学 1966
- 『マルキシズム』（現代日本思想大系 20）『日本資本主義分析』における方法論 筑摩書房 1966
- 『社会主義者・無政府主義者人物研究資料』2（社会文庫編）堺利彦の遺稿について 柏書房 1966
- 『私の生き方考え方』（青春新書）科学が信念を支える 青春出版社 1966
- 『河上丈太郎 - 十字架委員長の人と生涯』河上さんと私・ともに闘った先輩を失って 日本社会党機関紙局 1966
- 『みいけ20年』（三池炭鉱労働組合編）「みいけ」二十年に寄す 労働旬報社 1967
- 『本とつきあう法』本屋さんと仲よくなる 読売新聞社 1967
- 『私の古典』マルクス『資本論』 毎日新聞社 1967
- 『恋愛・性・家庭』（現代の教養9）妻のこと 筑摩書房 1967
- 『資本論解説』1～6（編著）『資本論』解説の刊行にあたって 序説『資本論』の歴史的意義 労働大学 1967
- 『社会・哲学論集 エンゲルス』（世界の大思想 - 5）解説 河出書房 1967
- 『人間の回復』 文藝春秋 1967
- 『資本論入門』（岩波新書） 岩波書店 1967
- 『縄田林蔵詩集・緑の法律』（労大新書 31）縄田林蔵さんの詩集 労働大学 1967
- 『私の人生遍歴』（生活の本2）私の歩いた道 文藝春秋 1967
- 『矢内原忠雄 - 信仰・学問・生涯』矢内原先生のこと 岩波書店 1968
- 『学習・空想より科学へ』（共著）(労大新書 35) 労働大学 1968
- 『北九州大学商経論集』岡崎三郎君 1968
- 『わたしの古典』マルクス『資本論』 日本放送出版協会 1969
- 『私の大学再建案』大学生とその母親 新潮社 1969
- 『信州と柏亭』山河在 石井柏亭先生顕彰会松本地区実行委員会(非売品) 1969
- 塚元敦義『労働者宣言』（労大新書 36）塚元君と私 労働大学 1969
- 『労働者のものの考え方』（労大ハンドブック6） 労働大学 1969
- 稲村としお『父・稲村順三』（労大双書4）めしと靴 労働大学 1969
- 『岩波講座 世界歴史』第23巻（月報8）日露戦争の頃 岩波書店 1969
- 『森鷗外』（日本文学研究資料叢書）森鷗外と社会主義 日本文学研究資料刊行会編 有精堂 1970
- 『資本論』9（岩波文庫） 解題 岩波書店 1970
- 『大島直治先生追想録』大島さんの思い出 大島直治先生追想録刊行会・中央公論事業出版（非売品） 1970

- 『現代の経済組織』（相原茂先生遺暦記念論文集） 相原茂君と私 日本評論社（非売品） 1970
- 『資本論と現代 - 人間疎外・国家・社会主義』 法政大学出版局 1970
- 『学習テキスト』3 労働者の世界観 全専売労働組合 1970
- 『学習・共産主義における「左翼」小児病』（共著）（労大新書38） 労働大学 1970
- 『変革の思想とはなにか』 対立の根源 読売新聞社 1970
- 『鈴木茂三郎選集』3 解説 労働大学 1970
- 『世界史と現代』（大系国家独占資本主義1） 世界史と現代 - 発刊にあたって 河出書房新社 1970
- 『戦士の碑』 労働大学 1970
- 岩井章『総評とともに』、『総評とともに』に寄す 読売新聞社 1971
- 『社会主義協会テーゼ』（編著） 社会主義協会 1971
- 『現代史と社会主義革命』（大系国家独占資本主義8） ブルジョア国家権力の平和的移行の問題 河出書房新社 1971
- 『わが道』3 マルクス経済学 朝日新聞社 1971
- 『自治労全道庁二五年史』 全道庁二十五年の歴史を読む 自治労全北海道庁労働組合編 労働大学 1971
- 『奇術に賭けた人生 - 阿部徳蔵氏の横顔』 阿部徳蔵さんと私 東京アマチュア・マジシアンズ・クラブ 1971
- 『日本独占資本と公害』（共著） 河出書房新社 1972
- 『まなぶ友の会運動』（労大双書4） 序章 まなぶことは闘いである まなぶ友の会全国協議会編 労働大学 1972
- 灰原茂雄『長期抵抗・統一路線』 灰原茂雄君の著書に序す 労働大学 1972
- 高沢寅男『現代政治入門』（労大新書41） 高沢寅男君のこと 労働大学 1972
- 『日本革命と社会党』 社会主義協会 1972
- 『現代と労働者階級』（監修）（現代と労働運動1） はしがき 対談・発刊にあたって - 現代の労働運動を語る 河出書房新社 1972
- 『ドイツ民主共和国』 はじめに 日本DDR友好協会連絡会議 1972
- 『わが資本論』 新潮社 1972
- 『労働者の世界観』（労大新書43） 労働大学 1973
- 『化学同盟二十年史』 発刊によせて - 歴史は闘いの教師である 化学産業労働組合同盟 1973
- 『三池主婦会二〇年』 三池主婦会二〇年の歴史に序す 労働大学 1973
- 『都職労社会保険支部二五年史』 都職労保険支部二五年史に寄す 労働大学 1973
- 『日本共産党論』（編著） 序章 社会主義協会 1973
- 『大佛次郎 - 人と文学』（『冬の花』別冊）『パリ燃ゆ』と私 光風社書店 1973
- 『革命と反革命 - チリ・レポート』（『社会主義』編集部編訳） まえがき - チリの経験と日本の統一戦線 社会主義協会 1974
- 『わが生涯の闘い』 文藝春秋 1974

- 『続日本共産党論』（編著）何を独善主義というか - 日本共産党批判の序説 社会主義協会
1974
- 『労働大学20年』労働大学二〇周年に思う 労働大学 1974
- 『学習・賃労働と資本』（共著）（労大新書 49）労働大学 1974
- 『教育と教師』社会主義協会 1974
- 『新・私の社会主義』至誠堂 1975
- 『青年に寄す』労働大学 1975
- 『 - 資料と解説 - 「日中共同声明」問題理解のために』「日中共同声明」についての基本視点 - 向坂逸郎社会主義協会代表にきく 社会主義協会 1975
- 『三池と私』労働大学 1975
- 『学習・帝国主義論』（共著）（労大新書 53）労働大学 1975
- 『歴史 人生 書物 - 向坂逸郎対談集』社会主義協会出版局 1975
- 『資本論解説』（編著）序説『資本論』の歴史的意義 あとがき 労働大学 1975
- 『大内兵衛著作集』10 解説 - 大内兵衛先生の思索の跡 - 岩波書店 1975
- 平尾敏『リカード派社会主義の研究』平尾敏君の遺著に序す ミネルヴァ書房 1975
- 高沢寅男後援会『寅さんのおいたち - 一人の大衆政治家の歩んだ道』科学的社会主義者としての高沢君 労働大学 1975
- 『社会主義者の生活』労働大学 1975
- 『青年と政治』労働大学 1976
- 『同志に与う』労働大学 1976
- 『東京大学経済学部五十年史』東京大学経済学部五十周年に寄せて - 卒業生随想「その頃」 東大経済学部 1976
- 『わが道を行く』労働大学 1976
- 大内兵衛『稲村が崎より』大内兵衛先生と私 - あとがきにかえて 社会主義協会出版局 1976
- 『労働者とともに』労働大学 1976
- 『山川均集』（近代日本思想大系19）先生を憶う（『世界』1958年6月号より） 筑摩書房 1976
- 『高木市之助全集』1（月報第4号）高木先生のこと 講談社 1976
- 『私の中の日本人』大森義太郎 新潮社 1976
- 『学習 賃金・価格および利潤』（共著）（労大新書59）労働大学 1976
- 『プロレタリアート独裁』（編著）パリ・コムミュンとプロレタリアート独裁 社会主義協会出版局 1977
- 佐藤多利治『盲目の旅人』「盲目の旅人」に序す 佐藤多利治訪ソ報告集「盲目の旅人」編集委員会 1977
- 『読書は喜び』新潮社 1977
- 『株式会社紀伊国屋書店創業五十年記念誌』洋書と私 紀伊国屋書店 1977
- 『国立公園絵画図録』国立公園協会編『国立公園』・美術出版社刊（日本読書新聞・1954年9月27日「旅の回想をたのしむ」） 国立公園協会 1977

- 『「資本論」をめぐる』 労働大学 1977
- 『日本資本主義の現段階』上(続大系国家独占資本主義3) 序 - 必然と自由 河出書房新社 1977
- 『平和・民主主義・社会主義とともに - ブレジネフ小伝』 レオニード・イリイチ・ブレジネフに序す 現代の世界社 1977
- 『レーニン研究入門』上(編著) 第1章 レーニンと現代 社会主義協会出版局 1977
- 『日本近代文学大事典』4 日本近代文学とマルクス・エンゲルス 講談社 1977
- 『レーニンの労働組合論』(共著) 労働大学 1977
- 『自治体改革と自治体労働者』(共編著) 序章 働く人間の誇りを ありえず書房 1978
- 『唯物史観』(櫛田民蔵全集第1巻) 新版への序 社会主義協会出版局 1978
- 『歴史から学ぶ』 大和書房 1978
- 山崎八郎訳『ホーネッカー小伝』 序 日本DDR友好協会連絡会議 1978
- 上野建一『中央集権に抗して - 県政とともに十五年』 杉の大木のように 市川市建政会出版部 1978
- 『党建設論』(共著) 社会主義協会出版局 1978
- 『菅崎松原の青春』 その頃のこと 九州大学経済学部五十周年記念事業会 1978
- 『朝日新聞100年の記事にみる 10 - 追悼録下』 松本治一郎・解放運動の足跡不滅 朝日新聞社 1979
- 『資料三池闘争史』(共著) 社会主義協会出版局 1979
- 『マルクスと現代 - 科学的社会主義の根本問題』 大和書房 1979
- 和気誠『マルクス「賃金・価格・利潤」解説』 マルクス『賃金・価格・利潤』解説に序す 社青同結成二十周年記念運動実行委員会 1979
- 『山川均論文集・政治的統一戦線へ!』 山川さんの人と業績 - 向坂先生に聞く 社青同結成二十周年記念運動実行委員会 1979
- 原野人『エネルギーのゆくえ - 原子力問題と社会主義』 序文 大和書房 1980
- 『葉山嘉樹と中津川』 葉山嘉樹 葉山嘉樹文学碑建立20周年記念集実行委員会 1980
- 『わが旅わが信州』 木曾路・山の旅 信州の旅社 1980
- 『うえの春秋』 上野広小路 上野のれん会 1980
- 櫛田克己『大佛次郎と「天皇の世紀」と - ある学芸記者の記録 - 』 序にかえて - 大佛次郎の思い出 社会主義協会出版局 1980
- 岩井章・灰原茂雄編著『階級的労働運動への道』 はしがき 社会通信社 1980
- 大内兵衛『憲法と社会主義』 対談・座談会から 社会主義協会出版局 1980
- 『人生読本・本』『貧乏物語』と私 河出書房新社 1980
- 小林晃『マルクス主義財政論』『マルクス主義財政論』に序す 新評論 1980
- 『右傾化に抗して - 社会主義への意志と力』 新評論 1981
- 舟山広治『北の風音 - 道政歳時記』 北国の人々の心は温い 「北の風音」編集委員会 1981
- 『軍事税および戦時経済』(櫛田民蔵全集第5巻) 新版監修者後記 社会主義協会出版局 1981

- 塚本健編著『マルクス主義と平和運動』 序・マルクス主義と平和革命 十月社 1981
- 『わが戦士たち』 稲村順三, 山川均, 大内兵衛, 山崎八郎 社会主義協会出版局 1981
- 『嵐について』 新評論 1982
- 『写真集・日本社会党』 三池に生まれ三池にまなぶ 日本社会党機関紙局 1982
- 『うめ草・すて石 - 思い出の人びと』(共著) 選書版「序」 至誠堂 1982
- 『石井柏亭画集』 山河在 信濃毎日新聞社 1982
- 『荒畑寒村 人と時代』 寒村と共に生きたファシズムの時代 マルジュ社 1982
- 『成田知巳・活動の記録』 第3巻 成田知巳君を憶う 成田知巳追悼刊行会 1982
- 『愚者の道』 新評論 1982
- 『未来は青年のもの』 日本社会主義青年同盟 1983
- 近江谷左馬之介訳『エンゲルス伝』(L. F. イリチョフ編) この本に寄せて - エンゲルスのマルクスへの貢献 労働大学 1983
- 『マルクス経済学と私』 社会主義協会出版局 1983
- 『人生は面白い』 社会主義協会出版局 1984
- 『榎田民蔵・日記と書簡』 序文・榎田民蔵の日記 社会主義協会出版局 1984
- 『社会主義は克つ』(社青同学習シリーズ 15) 日本社会主義青年同盟中央委員会 1985

訳 書（共訳を含む）

- パウエル『資本の蓄積と帝国主義』 叢文閣 1927
- エンゲルス『マルクス・エンゲルス全集』7の3（経済学批判第1冊） 改造社 1929
- マルクス『マルクス・エンゲルス全集』8（剰余価値学説史1） 改造社 1929
- メーリング『マルクス伝』上 白揚社 1930
- ツェトキン・カウツキー・チャルマン・シャッキン・ルトガス・プハーリン『インテリゲンツィア - その特質とその将来』(共訳) 大衆公論社 1930
- エンゲルス『マルクス・エンゲルス全集』21（手紙） 改造社 1931
- エンゲルス『マルクス・エンゲルス全集』24（手紙） 改造社 1931
- カウツキー『農業経済学』 中央公論社 1932
- カウツキー『貨幣論』(共訳) 改造社 1934
- マルクス・エンゲルス『マルクス・エンゲルス全集』補巻の1, 資本論綱要 直接的生産過程の結果 『資本論』第3巻補遺 改造社 1935
- マルクス『剰余価値学説史（新訳）』1 改造社 1936
- ラツェル『ドイツ』 中央公論社 1941
- フリーデンスブルク『世界鉱業論』(岡崎次郎訳として刊行) 生活社 1942
- ラツェル『アジア民族誌』 生活社 1943
- フライターク『独逸文化史』1 中央公論社 1943
- カウツキー『農業問題』上・下（岩波文庫） 岩波書店 1946

- マルクス『資本論』第1分冊～第12分冊(岩波文庫) 岩波書店 1947～54
- マルクス・エンゲルス『唯物史観』(共訳) 大月書店 1948
- マルクス・エンゲルス『共産党宣言』(共訳, 岩波文庫) 岩波書店 1951
- マルクス・エンゲルス『資本論綱要』(岩波文庫) 岩波書店 1953
- マルクス『経済学批判』『経済学批判序説』(マルクス・エンゲルス選集7) 新潮社 1959
- マルクス『資本論』第1巻～第3巻全四冊(百年記念・改訳) 岩波書店 1967
- マルクス『資本論』第1分冊～第9分冊(改訳, 岩波文庫) 岩波書店 1969～70

* 今後、この目録に新しく加わるもの、訂正箇所なども発見されるかもしれないので、ここでは《未定稿》とする。

(わき・まこと)

● 二一世紀を見据えた社会政策学の新しい方法論を提示
社会政策学会誌第五号
A5判・三〇〇頁・四〇〇〇円

自己選択と共同性——二〇世紀の労働と福祉

社会政策学会 第一〇〇回大会報告

経済格差とセーフティネット
「雇用流動化論」の歴史の意味
二〇世紀と福祉システム——日本を中心に
近代家族の形成・展開と自己変容——二〇世紀日本の生活経緯——
自己選択と共同性——何が議論されたか？
医療提供体制の問題と改革課題——
——競争の激化をめぐって——
テクニシャン養成の現段階——
個人単位の社会的セーフティネットを
リフレクティブ・プロダクション・システム・構想と実行の体系的再統合——
戦前期日本の「小経営」と家族労働力
医療保険制度の「日・韓比較」——その特質と改革の動向を中心に——
日本型「労働組合主義」労働の経営参加とその限界——
欧州ワークス・カウンスルと多国籍企業——
——情報協働制度・コーポレート・ガバナンスと市場経済——
アメリカの人事考課制度——
——一九七〇年代以降のホワイトカラーの人的資源管理に関する影響分析——
A comparative perspective on family policy developments
: Britain and Japan
片岡洋子
中野 聡
山垣真浩
張 炳 元
野原 光
谷本雅之
大沢真理
永田萬草
西岡幸泰
岩田正美
中川 清
玉井金五
佐口和郎
金子 勝

● 国家社会政策から地域社会政策へ
社会政策における国家と地域 「社会政策学会誌第三号」
社会政策学会編
A5判・二五〇頁・四〇〇〇円

1 社会政策学における国家と地域……堀内隆治
2 原子力開発と社会政策……菅井益郎
3 雇用問題と社会政策……経済構造調整期以降を中心に……木村隆之
4 コミュニティ・ユニオンの組織と活動……高木郁朗
5 福祉政策における国家主導から地域中心への移行……大谷 強
6 21世紀に直面する社会政策学の課題——世界・国家・地域——荒又重雄
——地域介護様式——の選択と介護保険制度——平野隆之
ウエルズ労働史におけるペンリン争議……久木尚志
家族政策の国際比較……所 道彦
大卒女性のキャリアパターンと就業環境……森ます美・木下武男・遠藤公嗣
フランス家族手当制度の歴史的生成過程……宮本 悟
国家公務員の勤務評定制……岡田真理子

● 対抗文化を生み出した街・サンフランシスコを検証する
サンフランシスコ発…社会変革NPO
A5変型判・二七〇頁・二六〇〇円

岡部 一明 著
これまでアメリカにおける革新的市民運動をつづけてきた街・サンフランシスコのNPO活動を詳細に現場報告する。



御茶の水書房 〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-20 ▶ 価格は税別 ◀
電話03(6684)0751/ <http://homepage1.nifty.com/ochanomizu-shobo/>